

【検討中の各障害の障害等級】

	1	2	3	5	7	9	11	12	13	14
尿路変向術				・非禁制型 (パウチ管理困難)	・非禁制型	・禁制型 (11級該当除く)	・禁制型 (外尿道口形成)			
蓄尿障害					・尿失禁 (終日パッド等を装着し、しばしばパッドの交換を要するもの)	・尿失禁 (パッド等の装着が必要であるが、パッドの交換までは要しないもの)	・尿失禁 (パッドを要しないもの)			
排尿障害						高度 (残尿100ml以上)	中等度 (残尿50ml以上)			
じん臓				(重症例(GFR30以下)は、要療養)		・高度低下 (GFR31~50)	・中等度低下 (GFR51~70)			・軽度低下 (GFR71~90)
一側のじん臓亡失				(重症例(GFR30以下)は、要療養)	・高度低下 (GFR31~50)	・中等度低下 (GFR51~70)	・軽度低下 (GFR71~90)			
生殖機能					・両側の睾丸亡失 ・無精子症 ・両側の卵巣亡失	・勃起障害 ・射精障害 ・癒痕による膣口狭窄	・産道狭窄		・膣口に残る癒痕による性交痛	
食道				(重症例は、要療養)			・狭窄			
ヘルニア					・常時ヘルニア内容が脱出・膨隆するもの	・立位でヘルニア内容が脱出・膨隆するもの	・腹圧が強くなる時にヘルニア内容が脱出・膨隆するもの		・腹壁ヘルニアに伴う疼痛 ・鼠径ヘルニアに伴う疼痛	
腸管狭窄				(重症例(は、要療養)			・腸管狭窄			
ひ臓										・ひ臓亡失
胃					・胃全摘+逆+ダ	・胃全摘+逆orダ ・胃一部+消化+逆orダ	・胃全摘 ・胃一部+消化or逆orダ			・胃の一部亡失
すい臓						・外分泌障害+内分泌障害	・外分泌障害又は内分泌又は			・軽微な膵液瘻による疼痛
胆のう										・胆のう亡失
肝臓				(AST, ALTが80IU以上の場合は要療養)		・肝硬変	・慢性肝炎			
小腸				・小腸皮膚瘻 (パウチ管理困難)	・小腸皮膚瘻 (小腸内容の全部漏出)	・小腸切除+消化吸収障害 (残存空・回腸75~100cm) ・小腸皮膚瘻 (漏出する小腸内容が100ml/日以上)	・小腸切除+消化吸収障害 (残存空・回腸100~300cm) ・小腸皮膚瘻 (パウチを要しない程度のもの)			
大腸				・人工肛門造設 (パウチ管理困難)	・人工肛門造設 ・完全便失禁	・中等度便失禁 ・高度排便障害 (常時おむつを要する)	・軽度便失禁 ・軽度排便障害 (明らかに便失禁が認められる程度のもの)			
心筋梗塞 狭心症				(軽度を越えるものは、要療養)			・軽度 (NYHA分類I、CCS分類I)			
ペースメーカ等					・除細動器植え込み	・ペースメーカ植え込み				